

第3次島田市男女共同参画行動計画(令和元～5年度)実施計画書

基本情報(計画での位置づけ)

区分	1	あらゆる分野における女性の活躍推進
基本的施策	1	ワーク・ライフ・バランスの推進

事業シート(事業番号)

項目	1	多様な働き方を選択できる環境の整備	目標達成のための取組	交流会やセミナーの開催回数や参加者数は一定数確保できており、今後はセミナー満足度を高めるため、利用者のニーズを把握し、充実した内容のセミナーを企画・開催する。	担当課
内容	産業支援センター「おびサポ」で、事業所や起業希望者などの相談を受けるとともに、セミナーや交流会を開催し、多様な働き方に関する情報提供を行う。				商工課
事業	1	交流会やセミナーの開催			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)		セミナー満足度(%)					
計画(年度ごとの目標等)		70%		65%		65%		65%		65%		65%				セミナー満足度 65%	
実績(値)	セミナー満足度 61%	61%		60%		78%											
達成率		87.1		92.5		120.5											
評価		A		A		A											
		87.1		A		92.5		A		120.5		A					

5か年の総合評価
※評価の平均

実績から見た評価理由

コロナ禍により計画していたセミナーや交流会が中止となり、参加者数は減少したが、実施できた事業については、目標値を上回る満足度が得られた。

事業シート(事業番号)

項目	1	多様な働き方を選択できる環境の整備	目標達成のための取組	島田ICTコンソーシアム(市が事務局を務める官民連携組織)の取組 ・安心して働くことができる「島田型クラウドソーシング」を構築、運営していく。 ※島田型クラウドソーシング: 運営者、受注者、発注者それぞれが地域密着で顔が見える島田ならではのクラウドソーシング ・子育て中の女性やアクティブシニアをはじめとし、クラウドソーシングで働くワーカーを発掘する。 ・市内企業におけるクラウドソーシングへの業務発注を促進する。	担当課
内容	個人の希望やライフスタイルに応じて、時間や場所に捉われないことなく働くことができる「クラウドソーシング」を推進する。				戦略推進課 商工課
事業	2	クラウドソーシングの推進			

■実績(値)・年度ごとの評価

評価モデル	①	積み上げ評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		登録者数		現状値(2018)~目標年(2023) 伸び率			
計画(年度ごとの目標等)	クラウドソーシングワーカー登録者数(人)	100		125		150		175		200		157				クラウドソーシングワーカー登録者数(人) 200	
実績(値)		72		94		112						-43					
達成率		72.0		75.2		74.7						-27.4					
評価		B+		B+		B+						C					
	43	72.0		B+		75.2		B+		74.7		B+					

5か年の総合評価
※最終年度数値の目標達成率

実績から見た評価理由

令和3年度は、中部5市2町のテレワーカー育成事業において、島田ICTコンソーシアムのクラウドソーシングの取組を発信し、新たなワーカー登録につながったが、目標達成には至らなかった。今後は、クラウドソーシングの仕事を安定的に受注し、登録しているクラウドソーシングワーカーが活躍する姿を見せていくことで、多様な働き方の1つとして市民に知ってもらい、登録者数を増やしていきたい。

事業シート(事業番号)

項目	2	「男女共同参画社会づくり宣言」事業所の普及促進						目標達成のための取組	啓発情報紙/パレットや市ホームページなどで宣言事業所の紹介を行う。	担当課		
内容	「男女共同参画社会づくり宣言」(県事業)についての周知を図り、事業所の自主的な取組を促進し、登録数を増やす。						市民協働課					
事業	3	事業所等の「男女共同参画社会づくり宣言」の促進										
■実績(値)・年度ごとの評価												
評価モデル	①	積み上げ評価										
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)		
指標		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数		宣言事業所数		現状値(2018)~目標年(2023)伸び率		
計画(年度ごとの目標等)	県が行う「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の数	125		127		128		129		130	6	県が行う「男女共同参画社会づくり宣言事業所」の数 130
実績(値)		125		128		128					-124	
達成率		100.0		100.8		100.0					-2066.7	
評価	124	A		A		A					C	
										5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		
実績から見た評価理由												
和4年3月現在で、市内の「男女共同参画社会づくり宣言事業所」数は128となったため。 パレットでの宣言事業所紹介数(累計) 17件												

事業シート(事業番号)

項目	3	市職員におけるワーク・ライフ・バランスの促進						目標達成のための取組	定められた定時退庁日に時間外勤務を命令する場合には人事課長の確認を得るものとし、時間外勤務の累積時間が一定以上になった場合には、その理由と対策等について報告を求めている。	担当課	
内容	定時退庁日の徹底や適性な人事配置による残業時間の削減により職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図る。						人事課				
事業	4	効率的な業務遂行と毎週水曜日は定時退庁日等の徹底									
■実績(値)・年度ごとの評価											
評価モデル	③	削減指標評価									
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)	
指標		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間		時間外勤務時間	
計画(年度ごとの目標等)	時間外勤務時間(時間)	55,000		54,800		54,600		54,400		54,200	時間外勤務時間(時間) 54,200
実績(値)		58,122		57,069		52,062					
達成率		94.3		95.9		104.6					
評価	55,213	A		A		A					
										5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率	
実績から見た評価理由											
定時退庁日に庁内放送を行い、定時で帰ることを意識させた。											

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実						目標達成のための取組	子育て世代包括支援センターの周知、利用の推進	担当課
内容	妊娠・出産・子育て期を切れ目なく支援する体制を強化していく。									
事業	5	子育て世代包括支援センターの運営								
■実績(値)・年度ごとの評価										
評価モデル	①	積み上げ評価								
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件)		相談件数(件) 現状値(2018)~目標年(2023)伸び率
計画(年度ごとの目標等)	子育て世代包括支援センターの相談件数	500		950		1000		1050		1050 690
実績(値)		905		1554		939				-360
達成率		181.0		163.6		93.9				-52.2
評価	360	A		A		A				C
		181.0	A	163.6	A	93.9	A			
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率										
実績から見た評価理由										
島田市版ネウボラを開始したことで相談件数は伸びていると考えられる。令和元年度からは集計方法を変更したため、大幅に増加した。令和2年度はコロナ禍ということもあり、相談件数が増加したと考えられる。 *島田市版ネウボラとは、母子手帳交付時から各家庭に担当保健師を配置し、健診等の場で同じ保健師が継続して支援する体制を構築し、安心して子育てができることを目的としている。 ※令和3年度の実績値は、令和4年2月末までの集計値。										

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実						目標達成のための取組	島田市子育て応援サイト等で情報を発信するとともに、母子保健部門と連携を図り、安心して子育てができるよう切れ目ない支援を行う。	担当課
内容	地域子育て支援センター、育児サポーター派遣事業など、多様なニーズに対応した子育て支援事業を推進する。									
事業	6	地域子育て支援センター事業 子育てコンシェルジュ事業								
■実績(値)・年度ごとの評価										
評価モデル	①	積み上げ評価								
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人)	相談件数(件)	マイ支援センター登録者利用数(人) 相談件数(件)
計画(年度ごとの目標等)		4,500	2,560	4,600	2,595	4,750	2,630	4,900	2,665	5,000 2,700
実績(値)		5,958	2,589	4,541	1,855	4,611	2,211			
達成率	・マイ支援センター登録者利用数(累計) 4,820人 ・相談件数 2,813件 ・実施園 10園	132.4	101.1	98.7	71.5	97.1	84.1			
評価		A	A	A	B+	A	A			
		116.8	A	85.1	A	90.6	A			
5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率										
実績から見た評価理由										
令和3年度 マイ支援登録者数 221人 マイ支援登録をしている3か月~7か月の第1子母親を対象にしたあかちゃん講座回数 88回 マイ支援登録をしている3か月~7か月の第1子母親を対象にしたあかちゃん講座参加数 395人 ※あかちゃん講座は、令和元年度より全支援センターで実施開始										

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実								目標達成のための取組	島田市子育て応援サイト等で情報を発信するとともに、母子保健部門と連携を図り、安心して子育てができるよう切れ目ない支援を行う。				担当課	
内容	地域子育て支援センター、育児サポーター派遣事業など、多様なニーズに対応した子育て支援事業を推進する。												子育て応援課			
事業	7	育児サポーター派遣事業														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	①	積み上げ評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)		実利用者(人)	相談件数(件)	
計画(年度ごとの目標等)		163	1170		165	1195		170	1220		175	1240		180	1260	
実績(値)	実利用者数 159人	128	810		92	710		124	841							
達成率	相談件数 1148件	78.5	69.2		55.8	59.4		72.9	68.9							
評価		B+	B+		B	B		B+	B+							
		73.9	B+		57.6	B		70.9	B+							
														5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		
実績から見た評価理由																
令和3年度 申請書提出数 219人 派遣回数 864回 ※家族の支援はあるが万が一に備えて申請する方もおり、実際の利用につながらないケースもある。																

事業シート(事業番号)

項目	4	子育て支援事業の充実								目標達成のための取組	市内すべての小学校でペアレントサポーターによる親学講座を実施し、また、すべての家庭教育学級でペアレントサポーターによるつながるシートの学習会を行う。				担当課	
内容	ペアレントサポーターが市内小学校に出向き、保護者に対する講座を行う。												社会教育課			
事業	8	家庭教育支援事業														
■実績(値)・年度ごとの評価																
評価モデル	②	年度単位評価														
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)				
指標		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)		親学開講数(校)	実施学級数(学級)	
計画(年度ごとの目標等)		18	18		18	18		17	17		17	17		17	17	
実績(値)	親学講座の実施 つながるシートの学習実施 18校	18	18		11	8		10	14							
達成率		100.0	100.0		61.1	44.4		58.8	82.4							
評価		A	A		B+	B		B	A							
		100.0	A		52.8	B		70.6	B+							
														5か年の総合評価 ※評価の平均		
実績から見た評価理由																
新型コロナウイルス感染防止のため、全小学校での実施はできなかったが、親学講座は10校、つながるシートの学習は14校で実施した。なお、親学講座を中止した学校についても、「親学ノート」の配布を行った。																

事業シート(事業番号)

項目	5	保育事業の充実								目標達成のための取組	待機児童をなくすための施策は継続し、保育の質を高める方法として、病児保育所を1箇所設置し、児童の病気期間中に仕事を休まなければならない親の負担を軽減する支援を行う。				担当課
内容	延長保育、一時保育、病後児保育、放課後児童クラブ等、働く親を支援する保育サービスを推進する。								9		保育事業(量と質の確保) 児童健全育成事業				保育支援課
事業															
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	②	年度単位評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)	待機児童割合(%)	病児保育施設数(箇所)		
計画(年度ごとの目標等)		0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	0%	1	保育所等の利用申込者数に対する待機児童数の割合(4月1日現在) 0% 病児保育施設数 0箇所	
実績(値)	保育所等の利用申込者数に対する待機児童数の割合(4月1日現在)	0.68%	0	0.14%	1	0%	1								
達成率	0%	99.32	0.0	89.47	100.0	100.00	100.0								
評価	病児保育施設数 0箇所	A	C	A	A	A	A								
		49.7	B	94.7	A	100.0	A								
										5か年の総合評価 ※評価の平均					
実績から見た評価理由															
きめ細かい入園調整により、4月1日における待機児童は解消された。															

事業シート(事業番号)

項目	5	保育事業の充実								目標達成のための取組	利用児童数の動向に合わせ、地域の社会福祉法人等の民間活用を含めた整備を進めていくとともに、事業目的に基づき必要度の高い児童の受け入れを優先する。 また、不足する指導員は、ハローワークや民間求人誌等を活用するほか、近隣の高校、大学への求人募集を強化する。				担当課
内容	延長保育、一時保育、病後児保育、放課後児童クラブ等、働く親を支援する保育サービスを推進する。								10		放課後児童健全育成事業				子育て応援課
事業															
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	③	削減指標評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合		待機児童割合			
計画(年度ごとの目標等)	利用申込者数 876人 待機児童数 7人	0%		0%		0%		0%		0%		0%		待機児童割合 0%	
実績(値)	待機児童割合 0.8%	8.8%		7%		10%									
達成率		91.2		93.1		90.4									
評価	0.8%	A		A		A									
		91.2	A	93.1	A	90.4	A								
										5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率					
実績から見た評価理由															
【令和2年度】放課後児童クラブ申込数 1,022人、待機児童数 71人 ※令和2年4月1日時点 【令和3年度】放課後児童クラブ申込数 1,059人、待機児童数 102人 ※令和3年4月1日時点															

事業シート(事業番号)

項目	6	育児休業制度の周知、利用の啓発								目標達成のための取組	啓発情報紙/パレットや市ホームページ、広報しまだ等で育児休業制度利用の啓発を行う。				担当課
内容	情報紙等で制度の周知を図る。												市民協働課		
事業	11	育児休業制度の周知、利用の啓発													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	②	年度単位評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供	情報紙や広報しまだへの記事掲載	ホームページ等での情報提供										
計画(年度ごとの目標等)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		啓発情報紙パレットや広報しまだ等への記事掲載 1回 ホームページ等での情報提供 1回	
実績(値)		1	0	0	1	0	1								
達成率	啓発情報紙パレットへの記事掲載 年1回	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0								
評価		A	C	C	A	C	A								
													5か年の総合評価 ※評価の平均		
実績から見た評価理由															
ホームページで育児休業制度(育児・介護休業法)についての記事を掲載した。															

事業シート(事業番号)

項目	7	市職員における育児休業制度の利用促進								目標達成のための取組	男性職員が育児休暇取得しやすい職場づくりをすすめる。				担当課
内容	市が率先して男女とも育児休業制度を活用しやすい環境整備を行う。												人事課		
事業	12	市役所内への育児休業制度等の周知・利用促進													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	①	積み上げ評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者		男性の育児休業取得者	現状値(2018)~目標年(2023)伸び率				
計画(年度ごとの目標等)	男性の育児休業取得者数(5年間の延べ人数)	1		2		3		4		5	0		男性の育児休業取得者数(5年間の延べ人数)		
実績(値)		2		3		5					-5				
達成率		200.0		150.0		166.7					#DIV/0!				
評価	5	A		A		A					#DIV/0!				
													5か年の総合評価 ※最終年度数値の目標達成率		
実績から見た評価理由															
配偶者が出産する(又は出産した)男性職員とその所属長に対して、休暇制度についての資料送付及び休暇取得促進の通知を行った。															

事業シート(事業番号)

項目	8	家庭生活への男性の参画促進に関する啓発								目標達成のための取組	ワーク・ライフ・バランスをテーマとして、啓発情報紙パレットや市ホームページ、広報しまでの啓発活動や講座等を開催する。				担当課		
内容	情報紙、講座等で家庭生活での役割分担の見直しにつながる情報提供や啓発を行う。								市民協働課								
事業	13	家庭生活への男性の参画促進に関する啓発															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		広報媒体への記事掲載数	講座参加者数		
計画(年度ごとの目標等)		1	50		1	50		1	50		1	50		1	50		
実績(値)	男性の家庭生活への参画促進についての記事掲載0回	1	29		1	18		1	18								
達成率	ワークライフバランスに関する講座参加者27人	100.0	58.0		100.0	36.0		100.0	36.0								
評価		A	B		A	B-		A	B-								
		79.0	B+		68.0	B+		68.0	B+								
														5か年の総合評価 ※評価の平均			
実績から見た評価理由																	
7月に発行したパレット40号で、地域の女性参画(自治会)についての記事を掲載した。また、2月には「アンコンシャスバイアス研修」というテーマで、セミナーを開催した。参加者:18人																	

事業シート(事業番号)

項目	9	男性が参加しやすい講座等の開催								目標達成のための取組	男性を対象とした料理教室やおやじの井戸端講座などを開催する。開催日について、男性でも参加しやすいよう配慮する。				担当課		
内容	男性の家事、育児、介護への参画を支援するため、参加しやすい講座等を開催する。								社会教育課								
事業	14	男の料理教室等の開催															
■実績(値)・年度ごとの評価																	
評価モデル	②	年度単位評価															
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			令和3年度(2021)			令和4年度(2022)			令和5年度(2023)			令和5年度(2023) ※目標(値)
指標		開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	開催箇所(箇所)	講座開催回数(回)	講座参加者数(人)	
計画(年度ごとの目標等)		8	50	700	8	50	700	8	50	700	8	50	700	8	50	700	
実績(値)	・入門!男の料理教室(楽習センター)開催14回、参加延べ人数260人	5	42	605	2	15	225	5	49	706							
達成率	・男の料理教室開催施設6施設、開催回数延29回、参加者延434人	62.5	84.0	86.4	25.0	30.0	32.1	62.5	98.0	100.9							
評価	・おやじの井戸端講座開催施設1施設、開催回数延2回、参加者延24人	B+	A	A	B-	B-	B-	B+	A	A							
		77.6	B+		29.0	B-		87.1	A								
														5か年の総合評価 ※評価の平均			
実績から見た評価理由																	
・入門!男の料理教室とおやじの井戸端講座について、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催を断念した会場があり開催箇所は減少したが、実施可能な施設において講座を開催した。開催回数は目標に近い数値を達成し、参加者数は目標数値を達成した。 内訳・入門!男の料理教室(楽習センター)開催18回参加延べ人数272人 ・男の料理教室開催施設3施設開催回数延べ22回参加者延303人 ・おやじの井戸端講座開催施設1施設、開催回数延2回(1回15人前後)																	

事業シート(事業番号)

項目	9	男性が参加しやすい講座等の開催										目標達成のための取組	父親の参加しやすい土日及び平日夜間に講座を開催する。また、父親を主な対象とした講座を開催する。また、広報などで男性の参加呼びかけを行う。	担当課 社会教育課	
内容	男性の家事、育児、介護への参画を支援するため、参加しやすい講座等を開催する。														
事業	15	父親も参加しやすい子育て講座の開催													
■実績(値)・年度ごとの評価															
評価モデル	②	年度単位評価													
	平成30年度(2018) ※現状(値)	令和元年度(2019)		令和2年度(2020)		令和3年度(2021)		令和4年度(2022)		令和5年度(2023)		令和5年度(2023) ※目標(値)			
指標		講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)	講座開催回数(回)	男性参加率(%)		
計画(年度ごとの目標等)	・思春期の子をもつ親の講座の開催 ・開催数1回、参加人数延べ33人、内、父親7人 ・幼児、児童をもつ親の単発講座(休日講座)の開催	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	5	20%	・男性が参加しやすい(土日・夜間)日時での講座開催回数5回 ・男性参加率20%以上	
実績(値)		5	19.5%	4	24%	4	29%								
達成率		100.0	97.5	80.0	117.5	80.0	145.0								
評価	参加人数55人、内、父親8人 ※親子ふれあい講座はH30年度中止となった。	A	A	A	A	A	A								
		98.8	A	98.8	A	112.5	A								
												5か年の総合評価 ※評価の平均			
実績から見た評価理由															
男性参加率29.0%であるため(土日開催講座全体参加人数93人うち実績父親参加人数27人)															